



## 教育研究発表会

本校では、研究主題「学び続ける子供が育つ授業の創造—対話に着目して—」を掲げ、4年間の計画で教育実践に取り組んできました。今年度より11月に教育研究発表会を開催し、今年度は最終年度として、7教科12授業、あったか教育の学級活動3授業の公開授業を通して、これまで研究してきたことを提案しました。また、富山大学大学院教職実践開発研究科准教授の増田美奈先生をお招きし、ご講演をいただきました。

どの授業においても、子供たちが主体的に授業に取り組み、仲間と対話する中で考えを深めていく様子が見られました。また、県内外の先生方、教育関係機関の先生方、大学生等、250人を超える参会者とともに、充実した研修を行うことができました。

ふたば会学級役員の皆様には、受付、接待、交通、児童係と、教育研究発表会を支えていただき、大変ありがとうございました。ふたば会の皆様のご協力があって成り立ちます。今後とも、本校へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## 人権週間に関する校内放送・あったかハート集会

昭和23年12月10日、国際連合第3回総会において、「世界人権宣言」が採択されました。採択日である12月10日は「人権デー」と定められ、人権デーを最終日とする1週間は「人権週間」として、昭和24年から毎年、全国的に人権啓発活動が行われています。本校でも、「人権週間」の期間中に、「人権週間に関する校内放送」と「あったかハート集会」を行いました。



「人権週間に関する校内放送」では、一斉メールでもお伝えしたとおり、誰もが幸せに楽しく生活する権利をもっていること、自分や友達の人権を大切にして互いに相手の気持ちを考えて過ごしたらよいことを確認しました。

「あったかハート集会」では、11月に行った学級活動「もっとあったかハートを大きくしていくためにはどうしていけばよいか」で話し合った内容を各クラスの代表や運営委員の子供たちが発表しました。発表後には、進んで手を挙げ、考えたことを全校の仲間と伝え合う様子も見られました。これからも、子供たち自身が温かな心を大きくしていくことができるよう支援していきたいと思えます。

## 第147回創校記念式典・第47回創校記念音楽会

富山県民会館ホールにて、附属小学校の誕生をお祝いする式典と音楽会を行いました。あいにく外は雨模様でしたが、ホールの中は「これまでの練習の成果を精一杯発揮したい」「他のクラスの歌声を聴くのが楽しみ」といった子供たちの意欲で溢れていました。

式典では、代表児童が附属小学校の歴史や音楽との関わりについて語りました。聞いていた子供たちは、附属小学校の長い歴史に誇りを感じ、先輩たちが築いてきた伝統をさらに発展させていきたいという思いを強くしたことと思います。

音楽会は、吹奏楽部の演奏から始まりました。毎年、全国大会に出場しているだけあり、聴く人を惹きつけるすばらしい演奏でした。部員の中には、「初めは楽器の演奏どころか楽譜を読むこともできなかった」という子供たちもいるそうです。そんな子供たちが練習を重ねる中で少しずつ技能を上達させていったのだと思うと、どのような分野においても、子供たち一人一人がもつ可能性は無限に広がっているのだと改めて感じました。

そして、いよいよクラス発表です。中学年の子供たちは二部合唱に取り組み、すてきなハーモニーを聴かせてくれました。歌声だけでなく表情からも、歌うことが大好きな気持ちが伝わってくる、そんな発表でした。

低学年の子供たちの素直な歌声や振り付けからは、全身で音楽を感じながら歌おうとする気持ちが伝わってきました。一生懸命に表現する姿を見ていて、会場の誰もが思わず笑顔になったことと思います。

高学年の子供たちはこれまでの練習で学んだことを本番で生かそうと、気持ちを一つにして取り組む姿を見せてくれました。特に、難しい曲に挑戦した6年生は、一人一人が自分の役割を精一杯果たし、美しい歌声をホールいっぱいに響かせてくれました。「自分も6年生になったらあんな姿を見せたいな」と下級生が憧れを感じる姿でした。卒業式では、さらに高まった姿を見せてくれると期待しています。

### ちござくらコンサート

今年度も長休みに音楽室で、ちござくらコンサートを開催しています。このコンサートでは、音楽会で歌った歌や、習いごとで練習している曲などを思い思いに演奏します。演奏するのも聴くのも自由ですが、毎回、学年を問わず、大勢の子供たちが音楽室に集まっています。

12月は低学年、1月以降には中学年以上が発表します。先日行われた、1年生の発表では、他の学年の子供たちも演奏に聴き入り、大きな拍手を送っていました。今後も、互いの心が温かくなるコンサートを継続していきたいと考えています。（副校長 村井悠子）

